

# La Informilo de Nagoja Esperanto-Centro

センター通信 第284号 2017年6月9日発行

発行：名古屋エスペラントセンター Nagoja Esperanto-Centro

461-0004 名古屋市東区葵一丁目26-10ユニブル新栄301号

公式サイト <http://nagoja-esperanto.a.la9.jp/>

Facebookページ <https://www.facebook.com/nagoja.esperanto>

郵便振替口座 00840-8-40765 「名古屋エスペラントセンター」



5月5日、エスペラント・セミナリーオの参加者がセンターを訪問

## 目次

名古屋エスペラントセンター訪問（山川節子） .....	2
Vizito al Nagoja Esperanto-Centro（Yamakawa Setuko） .....	3
エスペラント・セミナリーオ参加者のセンター訪問について（鈴木善彦） .....	4
林好美さん関連のニュース（山田義） .....	5
2017年度センター委員長として（山口真一） .....	6
総会報告 .....	7
2017年度委員会分掌・行事案内・お知らせ .....	15
活動日誌・編集後記 .....	16

# 名古屋エスペラントセンター訪問

エスペラント・セミナーオ委員 山川節子

JEI主催のエスペラント・セミナーオが今年5月3日～5日に名古屋で開催されました。会場は愛知県女性総合センター・ウィルあいち。準備の早い段階に、山田義さんから協力のお申し出、猪飼吉計さんからは名古屋エスペラントセンターへの訪問や図書販売のお誘いを受けていました。5日は午前中遠足番組、昼食後解散としたので、午後、希望者でセンターを訪問、また、どなたか遠足に同行していただきたいとお願いしたところお引き受けいただき、たいへん心強い思いでセミナーオを迎えることができました。初日の受付には後藤好美さんと山本由紀子さんがお手伝いしてくださいました。

遠足当日は午前9時に案内役の前田可一さんと永瀬義勝さんが会場に来てくださり、2コースに分かれて出発。前田さん案内のAコースは名古屋城と白壁地区の散策で、韓国から参加のLi Hyonsuk (Jesa)さんとJoung Aija (Libro)さんも入り11名。永瀬さん案内のBコースは参加者4名で名古屋市内散策と熱田神宮、白鳥庭園へ。2コースはセンターで落ち合いました。帰りの交通機関の関係で先に帰った方



もいましたが、14名が訪問。センターでは鈴木善彦さんが私たちの到着を待っていてくださり、ホワイトボードには“Bonvenon!”歓迎の言葉が。後藤好美さんからは自宅の庭で採れた甘夏みかんの差し入れが届いていて、初夏の町中を歩いた私たちの乾いた喉を潤してくれました。きちんと整理された本棚の書籍、そしてテーブルには販売用の書籍が並べられていて、各々、ゆっくり見学し、また、永瀬さんからセンターについてお話を聞かせていただきました。貴重な本も多く、何冊も買い求めた人もかなりいたようです。今回のセミナリーオの講師として来日し、また、今夏のソウルでの世界大会の大会実行委員でもあるJesaは韓国の仲間たちへのお土産にと、たくさん買っていました。セミナリーオと連結して地元のエス会の活動拠点を訪れ、会員の方たちと交流ができたことは、今回のセミナリーオを一層充実したものにしてくれました。

名古屋エスペラントセンターの皆さまのセミナリーオへの多大なご協力に心よりお礼申し上げます。

## *Vizito al Nagoja Esperanto-Centro*

**Yamakawa Setuko,**

**por la komitato de Esperanto-Seminario**

Ĉi-jara Esperanto-Seminario, kiu okazis de la 3-a ĝis la 5-a de majo en Nagoya, sukcese finiĝis kun la helpo de Nagoja Esperanto-Centro. En la 3-a s-inoj Gotô Yosimi kaj Yamamoto Yukiko kunlaboris ĉe la akceptejoj. En la 5a s-roj Maeda Kaiti kaj Nagase Yosikatu gvidis ekskurson antaŭtagmeze. Dek unu seminarianoj, inkluzive de s-inoj Li Hyonsuk (Jesa) kaj Joung Aija (Libro) el Koreio, vizitis la kastelon de Nagoya kaj promenis en la kvartalo Sirakabe kun s-ro Maeda, dum aliaj 4 promenis en la urbo Nagoya kaj vizitis Atuta-Sanktejon kaj Sirotori-Ĝardenon kun s-ro Nagase. Post la ekskurso la du ĉiĉeronoj kondukis nin al la oficejo de Nagoja Esperanto-Centro. Entute 14 homoj vizitis la Centron, kie nin atendis s-ro Suzuki Yosihiko kun freŝaj oranĝoj rikoltitaj en la ĝardeno de s-ino Gotô. Ni rigardis librojn kolektitajn kaj publikigitajn de la Centro kaj aŭskultis s-ron Nagase pri la Centro. Multaj el ni aĉetis librojn. Jesa, unu el la gvidantoj de la seminario kaj membro de LKK por ĉi-jara UK en Seulo, aĉetis multajn librojn por siaj samideanoj en Koreio. La vizito al la Nagoja Esperanto-Centro donis al ni, seminarianoj, okazon konatiĝi kun lokaj Esperanto-grupanoj kaj faris la seminarion tre fruktoplana. Ni elkore dankas la membrojn de Nagoja Esperanto-Centro, kiuj tiel afable helpis nin.

# エスペラント・セミナリーオ参加者の センター訪問について

鈴木善彦 (SOJO)

2017年5月3日から5月5日にかけて名古屋のウィルあいちで第50回エスペラント・セミナリーオが開催されました。最終日の5日には名古屋城散策と熱田神宮散策の2班に分かれて、半日の遠足がありました。

名古屋エスペラントセンターとして、この遠足に事務所の訪問を加えてもらう提案をし、当日の遠足には前田さんと永瀬さんが各コースにガイド役として同行しました。

当日1時ころにそれぞれのグループが到着し、14名の来訪者がセンターに集いました。

この日に備えて、蔵書部の委員を中心に、事前に書棚の整理を中心とした事務所の片付けを行い、当日は、センター出版物の特別割引セールを行うとともに、古本などの販売を行いました。

全国から名古屋に来られたエスペランティストに敬意を表し、センター出版物は5〜7割引の特別価格とし、古書についてはその本を所望する人に値段をつけてもらい販売しました。

“tempo”、“unuaj libroj por esperantistoj”、“Zamenhofa Ekzemplaro”なども売れたのですが、一番冊数が出たのが“Gon-Vulpo kaj aliaj rakontoj”でした。その理由はセミナリーオのあるクラスでこの本が紹介されたことにあるようです。本の宣伝や紹介の大切さを改めて認識しました。また古書セールも好評でした。初めて訪問される方がほとんどでしたので、設立者の一人である永瀬さんからセンターについて説明をしてもらいました。多くの方にその存在を知っていただくことができ、センターにとっても、参加者にとっても有意義な遠足になったのではないのでしょうか。

De la 3-a ĝis la 5-a de majo okazis en Nagoya "Esperanto-Seminario" organizita de Japana Esperanto-Instituto. Post la fino, 14 el ĝiaj partoprenantoj vizitis la oficejon de ni, NEC. Ni klarigis al ili pri NEC, kaj rabate vendis librojn; interalie "Gon-Vulpo kaj aliaj rakontoj" estis bone vendita.

# 林好美さん関連のニュース

蔵書担当委員 山田義

『欧羅巴親類めぐり』（日本エスペラント学会、1930年出版）という古い本がセンターにある。山田天風さんが持っていたものだ。著者は三重県の林好美（1900-1963）さん。柴田巖・後藤斉編『日本エスペラント運動人名事典』や、鈴置二郎・山本修編『三重県エスペラント運動史』にもその名が読める。1900年生まれというから私の父よりすこし年上だ。



この5月、その人の曾孫にあたるという林舞奈さんという人から、センターに連絡が来た。曾祖父の持っていた古いエスペラントの本を数冊寄贈したいとのこと。林好美さんは、今の津市一志町の医師。1928年の第20回世界エスペラント大会（ベルギーのアントウェルペンで開催）参加のためにシベリア鉄道を利用して4か月の欧州旅行を果たし、そのことを本に書いた人だ。この本はよく売れたと聞く。以前私も読んだことがあり、人にも紹介している。外国旅行なんて一般人には不可能に近い時代。長旅を越えて到着したヨーロッパでは、エスペランティストの家庭に暖かく迎えられた。世界大会に参加した日本人としてはほとんど最初の人ではなかったかと思う。

センターに立ち寄ってくれた林舞奈さんは連休で津市の故郷から東京方面に戻る途中であった。フランス語を話す快活な女性だ。しばらく歓談したあと、棚にあったエスペラントの学習書1冊とRevuo Orienta 2部を差し上げた。センター室内の本棚を眺めてかつて曾祖父さんを魅了したエスペラントに興味を新たにしたいようだ。これを機会にエスペラントを始めてほしい。





# 2017年度 センター委員長として

山口真一

4月1日名古屋エスペラントセンター（以下NECと略）総会にて9名の委員が選出され、それを受けて4月26日に第1回の委員会が開かれました。委員会の互選により私が委員長の任をお受けすることになりました。

NECは1974年に発足し、以後43年にわたって事務所を維持しながら活動を続けてきました。名古屋という都市の中心部に事務所を持つということは、とてもたいへんなことです。実情をいえば、財政は常に火の車です。手持ちの資金は底をつきかけ、このまま推移すれば1年から2年のうちに現在の事務所を手放さねばならない状態にあります。

事態の根本的打開策はひとえに会員（維持員）拡大にあります。NECは「名古屋」という地域名を冠しているものの、通常の地方エスペラント会とは異なる性格を有しています。規約の第3条には「エスペラントの深化発展のために有形無形のサービスを以て貢献することを目的とし、総合的・普遍的エスペラント文化のセンター建設への活動を行う」とあります。NECの特色としては

1. 集会・学習会などの場の提供
2. 図書販売サービス
3. 出版活動
4. 図書館機能

などが挙げられます。こうした特色をアピールしながら、この地域のみならず全国的な支持・支援をお願いしていくことが、今年度の重点課題となります。

特に第4点については、昨年度「雑誌目録」をβ版ではありますがウェブ上にて公開できたことは、NECとして誇りうる成果であったと思います。図書館機能としては雑誌だけでなく、多くの単行本を所有しており、今年度はその目録を整備することに力を注いでいきます。そのための担当委員を3人に増やしています。

「NECは通常の地方会とは異なる」と前述しましたが、とはいえ、東海三県（愛知・岐阜・三重）に活発な地方会が存在しない状況下では、「東海エスペラント連盟」およびその傘下の地方会との緊密な連絡が必要です。

40年前の「若手活動家」が今なおNECの中心となっているのが現状です（他のエスペラント組織でも似たり寄ったりですが）。エスペラント運動の未来のためには、会員の量的な拡大だけでなく、エスペラントの社会的意味をとらえ直しつつ、意識的に運動を担いやる「人の育成」も大切な課題です。現実的には多くを望めないものの、視野には入れておくべきだと考えています。

# 総会報告

(担当委員より提出された報告資料を編集したもの。年度は2016年4月1日から2017年3月31日まで。ただし、会計のみ暦年。)

---

## 総記

日時：4月1日14時から18時

場所：名古屋エスペラントセンター事務所

出席：23人（うち委任状15人）（遅刻者を含めると25人）

維持員総数40人の過半数の出席により総会が成立

議長：伊藤俊彦、書記：前田可一

---

## 主な協議内容

- ・ 会員数の減少、新規会員の獲得の困難さ、さらには会員の定年退職等による収入減にとまなう会員ランクの低下等によりセンター収入の減少が継続し、毎年30万円の赤字の状況で、センター事務所の維持もあと1年の瀬戸際にあり、実際に事務所移転を家賃2万円以内で検討が必要な段階にある。
- ・ 会費納入の促進については1年に1回会費の納入を働きかけているが、今後も積極的に取り組む。
- ・ 会員に一人1万円の寄付を募れば30名で30万の計算となるが、現事務所維持の抜本的な対策としては難しい。
- ・ 募金を募る手法として雑誌目録をホームページ上に掲載し日本大会等で広報、宣伝に努めたが成果は出ていない。



### <センター移転に係る組織体としての関連事項について>

センター移転となった場合、その財産処理、規約、事務所の位置、通帳の書き換え等の関連事項が発生することとなるので、該当事項に関するすべての措置をセンター委員会に一任することに総会として同意し承認を得た。

---

## 総務（前田可一）

### センター委員会開催日

2016年4月9日、5月12日、6月14日、7月9日、8月4日、9月14日、10月20日、  
11月24日、2017年1月12日、2月20日、3月23日

### センター利用日数

2016年度はのべ48日であった。（参考：2015年度は65日）

---

## センター通信（広報）（猪飼吉計）

### 281号 2016年8月18日発行 8ページ

- ・磯部晶策さん逝く（猪飼吉計）
- ・竹崎陸子さん逝く（前田可一）
- ・竹崎さんさようなら（山田義）
- ・L' Espero de Motteau
- ・『エスペラント運動を考える』を読んで（山田義）

### 281号附録 2016年9月6日発行 10ページ

会員のみに送付した総会報告

### 282号 2016年11月24日発行 12ページ

- ・ザメンホフ祭へのご案内
- ・So Gilsu さんを名古屋に迎えて（山口真一）
- ・エスペラント訳聖書をヴォーリズ学園に贈呈（山田義）
- ・日本大会への出店の報告（鈴木善彦）
- ・雑誌目録をホームページで公開（猪飼吉計）
- ・Post Jaroj（Folkmar Koller）
- ・磯部晶策さん略歴（編集部）
- ・活動日誌

### 283号 2017年3月15日発行 10ページ

- ・第66回東海エスペラント大会の案内
- ・ザメンホフはいくつの言語ができたか（猪飼吉計）
- ・NEC主催のザメンホフ祭（山口真一）
- ・北朝鮮とエスペラント（山田義）
- ・センター総会の案内
- ・編集者から



---

## 蔵書（山田義・猪飼吉計）

### 雑誌目録データ

猪飼吉計がもともと作成していた雑誌目録データを、堀田裕彦がインターネットで閲覧可能な形式に変換し、公開した。

### 蔵書（および事務所内）整理

- (1) 竹崎睦子さんのエスペラント関係の遺品を引き取ってセンターに保管。（前田可一、後藤好美、山本由紀子）
- (2) 川合正義さん、後藤正治さんから書籍の寄贈があり引き取ってセンターに保管。（前田可一、猪飼吉計）
- (3) ザメンホフ祭で“por pli da kantado”を参加者に配布した。東海大会、日本大会で販売した。
- (4) センター内のEsp関係以外の書籍や新聞紙や週刊誌、マンガ、DVDなど私物は廃棄。ただしセンター所蔵の名前のものがあれば残した。
- (5) 部屋の本棚の整理整頓
- (6) 本を登記する基礎としての個別の写真撮影はできなかった、新年度に残す。
- (7) 一部の本は修理した、スキャン記録した。PDFの保管メディアはDVD。
- (8) 東海地方の著作者あるいは出版者による書籍やDVDその他を一棚に集めている。NEC、名古屋エスペラント会、三重エスペラント会、エスペラント研究社、Amo-Akademio、Beltono、中山欽司さん、竹崎睦子さんなど。
- (9) 本棚の整理は委員会合意でただいま進行中。

### 提案し検討している事項

- (1) 本棚の整理をして部屋を広く使う。
- (2) 照明をより明るくする。
- (3) 椅子や机の一新、講演スタンド新調。
- (4) Wi-Fi 設備の新調などを提案。
- (5) エアコンの設置は維持費がかかるので否決。

---

## 教育（後藤好美）

昨年度は新規の講習等は残念ながら開けなかった。

継続講座として

勉強会：月2回、水曜18:00～20:00 4名程、講師：小川一夫氏

初級講座：月2回、金曜17:30～19:00 4名程、講師：小川一夫氏

---

## インターネット (山口真一)

### ウェブサイト

- 2016年12月23日 [行事案内・報告]2016年ザメンホフ祭の報告 を追加。
- 2016年10月20日 [行事案内・報告]行事案内 を更新。
- 2016年8月17日 [図書館]雑誌目録 を新設。
- 2016年8月15日 レンタルサーバーの移転にともない、URL (アドレス) を変更。
- 2016年6月1日 [NEC案内]リンク集 を更新。
- 2016年5月18日 [講習会・学習会]講習会・学習会 の情報を更新。
- 2016年5月18日 [行事案内・報告]行事案内 を更新。
- 2016年4月14日 [NEC案内]委員会メンバー を更新。
- 2016年4月14日 [NEC案内]所在地のメールアドレスを変更。
- 2016年4月10日 [通信より]「センター通信」バックナンバーのPDF版を追加。(279号)

サーバー移転は完了したが、URLのドメイン[a.la9.jp]がFacebookによって拒否されている。理由は不明。理由を問いただすも、回答無し。

### Facebookページ

- 「いいね！」22人 (前年対比+4)
- ウェブサイトと比べ、情報が早いこと、および編集権限をもつ7人は自由に投稿・編集できることが特徴。2016年は44本の記事がアップされた (前年は26本)。読書会案内、「センター通信」発行のお知らせ、イベント案内など。
- 公式ウェブサイトからリンクされるようにした。
- 日本語が多いが、エスペラントの使用頻度を増やすべきである。

### メーリングリスト [esperantistoj\_de\_tokai]

- 投稿総数2件 (前年対比-22) 一昨年30件、昨年8件と比して激減している。認知度のせいもあるが、特に東海地方限定の情報交換の場としての意義が薄れている。(全国的には「エスペラント会懇談会」が活発に機能している)
- 配信メンバー33人 (前年対比+7)

### 掲示板

- 原因不明のトラブルにより、削除されている。  
(現在は別のレンタルサーバーにて運営中)

---

## 企画 (山口真一・堀田裕彦)

### 青島まりこ来訪、講演 (Konversacia Rondoの枠)

[日時] 2016-04-09(土) 16:00-17:00

[場所] 名古屋エスペラントセンター事務所

[内容] 講演 青島まりこ “Verda Urbo Eŭropa”(50分)と質疑応答。

[参加] 8名

### 日本大会 (近江八幡市) でのNECブース出展 (準備&運営は委員有志)

[日時] 2016-10-08/10(土/月)

[場所] 日本大会

[内容] NECの活動を紹介、図書販売、募金など。

### Albert Stalin Garrido (フィリピン)、講演 (不成立)

#### ザメンホフ祭第一部

[日時] 2016-12-17(土) 14:00-17:30

[場所] 名古屋エスペラントセンター事務所

[内容] 電子紙芝居「Gon-Vulpo」、本の紹介(3人)、スピーチ(2人)、  
「世界エスペラント大会の楽しみ方」

[参加] 17名 (前年対比-3)

[総括] 和やかな雰囲気であったが、顔触れが常連ばかりであった。

(初参加1人)

#### ザメンホフ祭第二部

[日時] 2016-12-17(土) 18:00-20:00

[場所] ホームメイドキッチンぽろ (居酒屋)

[参加] 9人 (前年対比-4)

[総括] 食事内容はよかったが、参加費が4500円 (従来より500円増) で、「気軽に参加しにくい」との意見があった。

---

## Konversacia Rondo (猪飼吉計)

第21回 2016-04-09

第22回 2016-05-12 猪飼: metalaj manĝbastonetoj、山田: La Sinjorina Preĝejo、前田: oro perdas sian brilon por denta kuraco.

第23回 2016-06-11 猪飼: manĝbastonetujo、山田: dek ordonoj de Esperanto、前田: Abe havas du langojn.

(この回より第2土曜日に開催)

第24回 2016-07-09 猪飼、山田

第25回 2016-08-13 堀田：skoltismo、猪飼

第26回 2016-09-10 猪飼のみ

(10月は第二土曜が日本大会と重なるため中止)

第27回 2016-11-02 堀田：normo komputila kiel montri daton ekzempligitan de “2016-11-12”、猪飼、(新会員の小川さん臨席)

第28回 2016-12-10 猪飼のみ

第29回 2017-01-14 猪飼、堀田：studo de 川崎直一

第30回 2017-02-11 中止

第31回 2017-03-23 猪飼：新約聖書ギリシア語、山田：abonkarto Suica

(この回より第二土曜開催を止め、委員会と同日に戻す。なお結局最終回となる)

---

## Ni Legu 読書会 (伊藤俊彦)

### 1 日時・会場

2016年度の日程は以下のとおり。時間は午後4～6時。

会場はセンター事務所。

2016年 4/19、6/28、7/19、8/23、9/27、10/26、11/22、12/20、

2017年 1/27、2/23、3/28 合計11回開催

### 2 参加者

米川五郎、山田義、前田可一、鈴木善彦、佐藤彰思、伊藤俊彦 ほか飛入り2名

### 3 進め方等

毎回、テキストの予め指定された範囲(10～20ページ)を各自が読んできて、当日は、理解できなかった箇所、感心した表現、時代背景、執筆者の見解、各自の感想などについて自由に発言し、討論するというやり方で進めた。

### 4 実施状況の報告・次回の予告

各回の内容を次のとおり報告したので、詳細はこれらを参照されたい。

- ・名古屋エスペラントセンターのFacebook (読書会終了後そのつど報告)
- ・センター通信 (Facebookでの報告を随時まとめて掲載)

### 5 テキスト

読書会Ni legu は2014年6月12日発足以来、間もなく3年になろうとしているが、これまで読んだテキストは以下のとおりである。

- ・Hori Jasuo “Raportoj el Japanio 15” 2014/6/12 ～ 6回
- ・Julian Modest “Mara Stelo” 2015/1/29 ～ 5回
- ・Monato 2015/7/28 ～ 7回

- ・ Julian Modest “La viro el la pasinteco” 2016/2/24 ~ 10回
- ・ István Nemere “Krokize de mia ĝardeno” 2017/1/27 ~ 3回

## 6 まとめ

日常生活で本、雑誌、ウェブ記事などさまざまなテキストを多読できるようになることをめざして読書会を行っている。そのため、学校での英文解釈の授業のように1字1句にこだわって訳読するのではなく、パラグラフごとに大意をつかみ、他方、不明な細部については徹底的に議論、分析するように努めた。今後も切磋琢磨しつつ進めたい。

---

## 会計報告 (鈴木善彦)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	898,686	家賃	440,640
		共益費	155,520
会費	391,500	保証協会	7,500
寄付	52,812	電気代	106,459
本の売上	32,162	通信作成費	12,000
企画 (ザメンホフ祭)	49,000	切手代等(郵送代)	18,360
部屋使用料	0	図書購入費・送料	30,657
鍵使用料	0	手数料	1,760
利子	9	用紙・封筒代	1,036
		ザメンホフ祭関連	44,277
		その他	33,097
(小計)	525,843	(小計)	851,306
		次年度繰越金	572,863
計	1,424,169	計	1,424,169

借入金 0円

### 次年度繰越金内訳

郵便振替口座	325,030円
現金	25,160円
郵便貯金	35,639円
UFJ銀行口座	187,034円
計	572,863円

### 収入支出の主な概要

- 「ザメンホフ祭」の収入・支出には懇親会費用も含んでいます。そのため実質的な収入は4,723円です。
- 本の売上には日本大会での出張販売売上10,100円を含みます。
- 繰越金は前年度からの898,686円から次年度への572,863円と325,823円減少しました。参考に2015年の減少分は318,482円で、毎年32万円ほどの赤字決算となっています。
- 収入は525,483円で、2015年の514,446円と比較して同程度でした。会費の収入は2015年と比較して、21,900円の増加でした。
- 寄付は下記のとおりです。寄付していただいた方には、この場でお礼申し上げます。

### 寄付者一覧

委員会・学習会	20,157円	山田義	2,500円
有志8人	16,000円	牧野三男	2,500円
小川一夫	3,000円	湯浅典久	960円
川地善則	3,000円	猪飼吉計	80円
川地貴子	3,000円	鈴木善彦	115円
堀田有里	1,000円		
堀田裕彦	500円	寄付合計	<u>52,812円</u>

水芭蕉 lisikitono





## 2017年度委員会分掌

- ▶ 委員長 山口真一
- ▶ 副委員長 伊藤俊彦・山田義
- ▶ 会計 鈴木善彦
- ▶ 企画 堀田裕彦・山口真一
- ▶ 教育 後藤好美
- ▶ インターネット 山口真一
- ▶ センター通信 猪飼吉計
- ▶ 蔵書 山田義・伊藤俊彦・湯浅典久
- ▶ 総務 前田可一

---

### 行事案内・お知らせ

## エスペラント運動セミナー

エスペラントは、1887年7月14日にザメンホフが『第一書』（Unua Libro）を出版したことから始まります。はじめは一人だった話者は、今日およそ百万人にまで広がっていますが、今後も意識的な運動（普及・教育・実用など）がたいせつです。

エスペラント運動の原点ともいえる『第一書』を、みんなで読んで、エスペラント運動について、あらためて考えてみましょう。

- ❖ 日時：7月8日（土）16時から18時
- ❖ 場所：名古屋エスペラントセンター
- ❖ テキスト：unuaj libroj por esperantistoj  
(名古屋エスペラントセンター刊。当日購入可能です。2500円)
- ❖ 参加費：無料
- ❖ 解説：永瀬義勝、司会：山口真一

## 掲示板が復活しました

しばらくの間、名古屋エスペラントセンターのホームページ内の掲示板が使えなくなりましたが、装いも新たに復活いたしました。ご利用ください。

<http://6924.teacup.com/esperanto/bbs>

---

## 活動日誌 (4月から5月)

---

4/1 (土)	14時から18時	センター総会
4/7 (金)	17時半から19時	初級講習会
4/14 (金)	17時半から19時	初級講習会
4/19 (水)	18時から20時	勉強会
4/25 (火)	16時から18時	読書会
4/26 (水)	18時から20時	センター委員会
5/1 (月)	14時から18時	センター蔵書部会 (および作業)
5/12 (金)	18時から20時	センター委員会
5/17 (水)	18時から20時	勉強会
5/19 (金)	17時半から19時	初級講習会
5/24 (水)	18時から20時	勉強会
5/30 (火)	16時から18時	読書会

### 速報

第66回東海エスペラント大会が岡崎市にある愛知県青年の家にて5月27日、28日に開かれました。記事は次号に掲載の予定です。



### ▶編集後記

山口真一さんがセンターの委員長に復帰し、2017年度が始まりました。わたしは本誌の編集に没頭することになりましたが、悲しいことに、版下作成ソフトには不慣れなため、他の委員からの職責を超えた支えなしには、この総会特集号も不可能でした。新生センターの活躍ぶりをお伝えできるような、誌面作りを心がけていきたいと存じます。(猪飼吉計)

### センターの会員 (維持員) 募集中

A:月500円 / B:月1,000円 / C:月2,000円 / D:月3,000円

ランクによる会員資格に差はありません。ランク別及び振込月数を明記して郵便振込(口座番号は表紙タイトル下)へお願いします。メールアドレスがあれば、それもあわせてご記入ください。